



大塚教育

令和8年度4月号
文京区立大塚小学校
校長 山下 智美
3946-3421



お子様のご入学、ご進級 おめでとうございます

校長 山下 智美

新1年生を迎え、令和8年度がスタートしました。お子様のご入学ならびにご進級、誠にありがとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

大塚小学校の校長、3年目となりました山下智美です。どうぞよろしくお願いいたします。大塚小学校は保護者の皆様、地域の皆様に支えられている学校だと改めて思っているところです。今年度も皆様のご協力をいただきながら、お子様が元気に楽しく学校に通えるよう、努力してまいります。

さて、春休みは子どもたちの声が校内から聞こえず寂しい毎日でしたが、私たち教職員をほっこりさせてくれたのは、花たちでした。玄関前の花壇には、もともと昨年度の整備・環境委員会が植えてくれたパンジーなどが咲いていて、温かい雰囲気を作ってくれていました。スイセンの球根も植えていたのですが、3学期末は葉が出てくるところで終わってしまいました。しかし春休みに入ると、きれいで大きな黄色い花がどんどん咲き始めました。水やりをよくしてくれていた新6年生の顔が浮かびました。校庭では、桜の花が満開です。3月25日の卒業式にも思いを馳せました。みんなに優しく卒業生が、在校生に「あとは任せるよ」と言っていました。一学年、進級した子どもたちはきっと、大切なバトンを受け取って頑張ってくれるのだろうと想像し始めたら、楽しくなってきました。寂しさの中に、これから始まる新年度への期待も大きく膨らんだ数日間となりました。

本校では、昨年度から目指す学校像として「笑顔いっぱい 一人一人が生き生きと輝く 大塚小学校」とキャッチフレーズを掲げ、子どもたちの支援や指導をしています。笑顔いっぱいの毎日になるよう、自ら様々なことに興味を広げ、まずはやってみようという姿勢で学校生活を送る子どもたちを育てていきたいと思えます。頑張っているときの子どもたちの表情は本当にすてきです。あの笑顔や充実感にあふれた表情をたくさん増やしたいです。そうは言っても、毎日いろいろなことが起きるのが学校です。時には自分の思い通りにならないことや、気持ちが相手に通じないこと、学習にも後ろ向きになってしまうようなことがあるかもしれません。それでも「何か解決の道はあるはず!」と、子どもたちに寄り添える学校を目指します。

また、一人一人が生き生きと輝けるよう、子どもたち一人一人を大切にしていきます。集団生活の中では、みんなと合わせることも必要ですし、自分らしさを発揮することも、同じようにできるようになってほしいと願っています。私の大好きなミュージカルの劇中歌に「みんなはひとりのために、ひとはみんなのために」という歌詞がありますが、まさに、この姿が学校にはなくてはならないと考えます。子どもたちみんなにも協力してもらいながら、よりよい学校をつくっていききたいと思えます。

今年度も教職員一同、子どもたちのために全力を尽くします。引き続き、学校へのご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

4月の生活目標 「決まりを守って生活しよう」

生活指導主任 富田 康輔

学校には、学習や生活、持ち物などについて、様々な決まりがあります。また、学年やクラスごとも大切にしている約束があります。これらはすべて、大塚小学校の子どもたち一人一人が、安心して気持ちよく学校生活を送るために欠かせないものです。

さらに、学校の外にも守るべき決まりはたくさんあります。交通ルールや公園での過ごし方、インターネットを使うときの約束など、日常生活の中には、みんなが安全に、そして心地よく過ごすためのルールがあふれています。学校では、こうした決まりの意味や大切さについて、日々の生活や学習を通して伝えていきます。

気持ち新たにスタートできる4月は、改めて「決まりを守ること」について考えるよい機会でもあります。ぜひご家庭でも、なぜ決まりがあるのか、守ることでどんな良さがあるのかについて、子どもたちと話題にしていいただければと思います。

学校と家庭が手を取り合いながら、子どもたちがより良い生活を送り、健やかに成長していけるよう、これからも支えていきます。

